

INVESTMENT STRATEGY MONTHLY <投資戦略マンスリー> DIGEST

MITSUBISHI UFJ KOKUSAI ASSET MANAGEMENT



2022年4月

● 金融市場（6ヵ月後）見通し

株式

| | | 直近値 | 6ヵ月後の見通し |
|----|-------------|--------|---------------|
| 日本 | 日経平均株価(円) | 28,252 | 27,000-31,000 |
| | TOPIX(ポイント) | 1,992 | 1,840-2,240 |

| | | 直近値 | 6ヵ月後の見通し |
|----|--------------|--------|---------------|
| 米国 | NYダウ(米ドル) | 35,294 | 34,000-38,000 |
| | S&P500(ポイント) | 4,632 | 4,450-4,850 |

債券（10年国債利回り）

| (単位:%) | | 直近値 | 6ヵ月後の見通し |
|--------|--|-------|----------|
| 日本 | | 0.249 | 0.0-0.4 |

| (単位:%) | | 直近値 | 6ヵ月後の見通し |
|--------|--|-------|----------|
| 米国 | | 2.398 | 2.0-2.8 |

リート

| (単位:ポイント) | | 直近値 | 6ヵ月後の見通し |
|-----------|----------|-------|-------------|
| 日本 | 東証REIT指数 | 2,023 | 2,000-2,200 |

| (単位:ポイント) | | 直近値 | 6ヵ月後の見通し |
|-----------|-------------|-------|-------------|
| 米国 | S&P米国REIT指数 | 1,923 | 1,820-1,980 |

為替（対円）

| (単位:円) | | 直近値 | 6ヵ月後の見通し |
|--------|--|--------|----------|
| 米ドル | | 122.84 | 116-124 |
| ユーロ | | 136.18 | 127-139 |

| (単位:円) | | 直近値 | 6ヵ月後の見通し |
|-----------|--|-------|-----------|
| オーストラリアドル | | 92.28 | 87-97 |
| ブラジルリアル | | 25.81 | 22.5-27.5 |

注) 見通しは当社経済調査室。
直近値および見通しは2022年3月29日時点（直近日休場の場合は前営業日の値）。

出所) S&P、Refinitivより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」
および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。

日本

■ 株価は月前半に急落も、後半にかけ大幅回復

3月の日経平均株価は前月末比6.5%上昇しました（～29日）。月前半はウクライナ情勢緊迫化でリスクオフとなる中、各国の対ロシア制裁に伴う原材料高騰が企業業績を下押しとの見方が拡がり、日経平均は25,000円を割る場面もありました。月後半はロシア・ウクライナの停戦交渉期待や米金融政策の不透明感払拭、日米金利差に伴う円安進行等を好感し、株価は堅調に推移しました。

■ 堅調な企業業績が維持されるかが焦点

予想PERは過去トレンドを下回り日本株への期待が高まりづらい状況の下、堅調な業績予想が株価を牽引しています。当面の株価は経済正常化期待や円安を背景に底堅い展開をみますが、ウクライナ情勢やコロナ変異株など懸念材料も残ります。特に対ロシア制裁が長引けば原材料高騰や供給制約といった形で企業活動の重石となるため、日銀短観等で示されるウクライナ情勢に対する企業の反応が注目されそうです。（田村）

米国

■ 地政学リスクを抱えたまま上昇

3月のNYダウは+4.1%（～29日）と上昇しました。ロシアによるウクライナ侵攻によりリスク回避姿勢が高まり序盤軟化、1バレル=\$100を超えた原油先物の上昇も重石となりました。しかし、予想通り米FRB（連邦準備理事会）は利上げ開始、物価高騰に毅然と立ち向かい早期大幅利上げの姿勢を明確に示した事で金融政策の不透明感が払拭、資源株やバリュー株中心に株価は反発しました。

■ 米景気に利上げ耐性があるか？

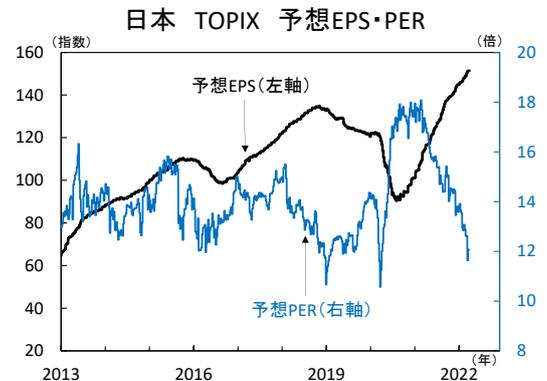
4月は米景気の持続性が焦点とみえています。FRBは、早期大幅利上げという、従来より金融市場が求めた姿勢に寄り添いました。但し、景気は利上げ耐性ありと強気な一方、金融市場は長短金利差の逆転を憂い景気後退を警戒しています。米景気の利上げ耐性は？この新テーマを巡り今後の経済指標を注視、実体経済の強固さを確認できれば、株価への期待も高まるとみえています。（徳岡）

【図1】日経平均は28,000円台まで戻す



注) 直近値は2022年3月29日時点。

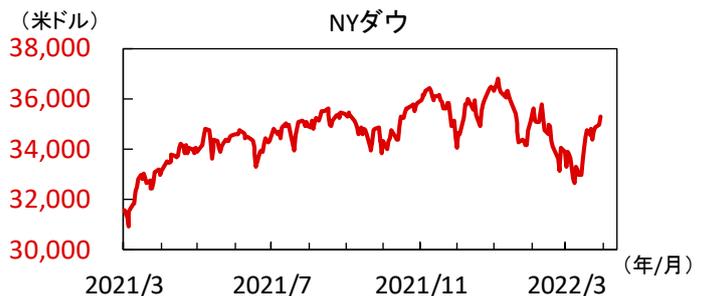
出所) Refinitivより当社経済調査室作成



注) 直近値は2022年3月28日時点、12ヵ月先予想を使用。EPSは1株当たり利益、PERは株価収益率。

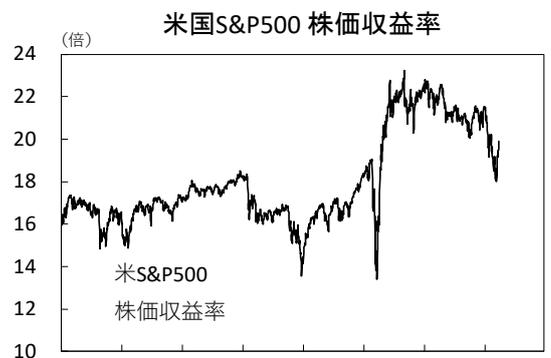
出所) Refinitivより当社経済調査室作成

【図2】景気に利上げ耐性、実質金利上昇が糧に



注) 直近値は2022年3月29日時点。

出所) Refinitivより当社経済調査室作成



注) 直近値は2022年3月29日。

出所) FRB、Refinitivより当社経済調査室作成

日本

日銀は指値オペで長期金利上昇を牽制

3月の10年債利回りは0.07%pts上昇しました（～29日）。月初はウクライナ侵攻を巡る地政学リスクを警戒し、国債への資金逃避が加速。その後は欧米中銀が金融政策修正に舵を切る中で海外金利上昇が進み、国内長期金利も日銀が示す上限0.25%に接近しました。もっとも、日銀は28日に指値オペ、29日～31日に連続指値オペを実施し、国債無制限買入で金利上昇を牽制しました。

当面の長期金利は高止まると予想

日銀は3月の金融政策決定会合で現行の金融政策を維持しました。黒田総裁は記者会見で、4月以降のコアCPI（除く生鮮食品）は2%程度になる可能性に言及も、商品市況高に伴うコストプッシュ型は経済に悪影響を与える面もあるとし、金融緩和継続を強調。海外金利は上昇傾向にあり、物価上振れや円安加速で政策修正観測が強まれば長期金利は高止まる可能性があり、昨年以降減少していた日銀の国債買入も再度増加しそうです。（田村）

米国

10年国債利回りは一時2.5%超え

3月の米10年国債利回りは、予想通り上昇する展開となりました。ロシアのウクライナ侵攻受けリスク回避姿勢が高まる場面あるも、2月消費者物価上昇率は前年比+7.9%と物価高騰の加速を憂う内容に、債券相場は序盤揺さぶられました。しかし、米FRB（連邦準備理事会）が早期大幅利上げという強気姿勢を示すと米10年国債利回りは急上昇、コロナ禍前、2019年の水準に達しました。

金融政策の正常化で長期金利も正常化へ

米10年国債利回りは上昇を続けるとみえています。5月にも開始とみられるFRBの国債、MBS（住宅ローン担保証券）保有縮小策の詳細が、3月FOMC（連邦公開市場委員会）議事録で示される見込みです。昨夏来の金利上昇局面にて、短期に比べ上昇幅が小さい長期の金利は、景気減速懸念よりも最大の国債、MBSの買い手であるFRBの保有の影響が強いとみえています。金融政策の正常化と共に、長期金利の正常化も進むとみえています。（徳岡）

【図3】長期金利は日銀が示す上限0.25%に接近



注) 直近値は2022年3月29日時点。出所) Refinitivより当社経済調査室作成

日本 長期国債保有残高(前年差)



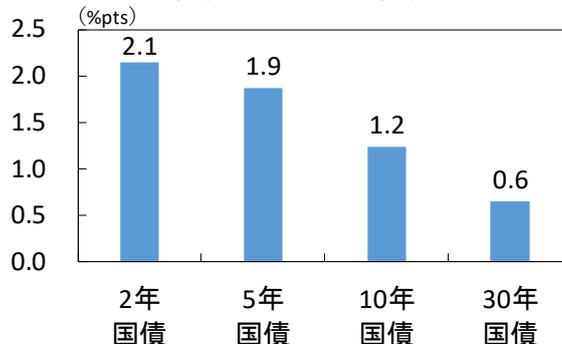
注) 直近値は2022年2月。出所) 日本銀行より当社経済調査室作成

【図4】今次局面の長期金利上昇幅は短期の約半分



注) 直近値は2022年3月29日時点。出所) Refinitivより当社経済調査室作成

米回国債利回り 年限別切り上昇幅 (2021年7月30日ー2022年3月28日)



出所) Bloombergより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意頂きたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。



米ドル

ドル金利上昇で上昇、ドル円は節目に

3月の名目実効ドル（貿易加重の主要為替レート）は上昇しました。ドル円も上昇、一時\$1=125円を超える展開となりました。米FOMC（連邦公開市場委員会）が利上げと共に先行きの早期大幅利上げを示唆し米金利が上昇、ドルが選好されました。一方、現下ドル円水準は2015年に日銀黒田総裁が円安けん制発言をした水準、いわゆる黒田ラインに近く、一段のドル円上昇は警戒されました。

米金利上昇がドル高をサポート

4月の実効ドルやドル円は上昇とみえています。パウエル米FRB（連邦準備理事会）議長は、早くも5月FOMCでの0.5%利上げに向け地ならしする等、早期大幅利上げに積極的です。この姿勢は金利上昇を後押し、ドルを押し上げるとみえています。また、4/6には3月FOMC議事録が公表予定、FRBが保有する国債やMBS（住宅ローン担保証券）の縮小策の詳細が示される見込みです。金融政策の正常化加速の思惑が強まるとみえています。（徳岡）



ユーロ

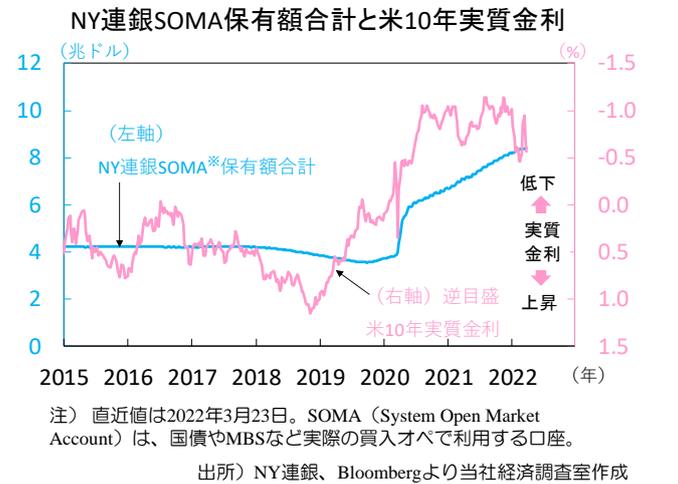
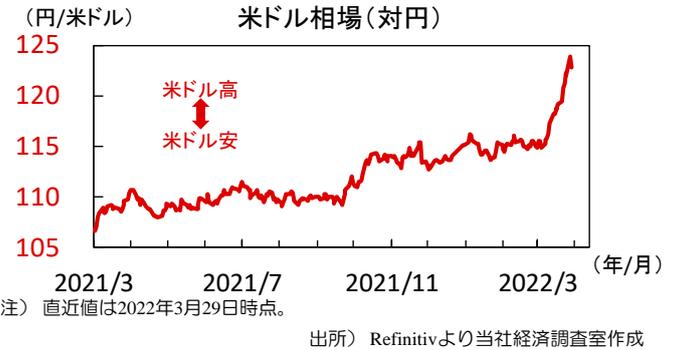
ウクライナ侵攻を受けてユーロ安が進行

3月のユーロ・ドルの月間騰落率（～29日）は▲1.2%と大幅にユーロ安が進行。ロシアのウクライナ侵攻や大規模な対露経済制裁の発動を背景に、月初よりユーロ売りが加速し、3月7日には対ドルで1ユーロ=1.08ドル台まで下落。また、米FRB（連邦準備理事会）が利上げ加速を示唆したこともユーロ安に拍車をかけました。足元ではロシア・ウクライナの停戦合意期待から回復基調に転じています。

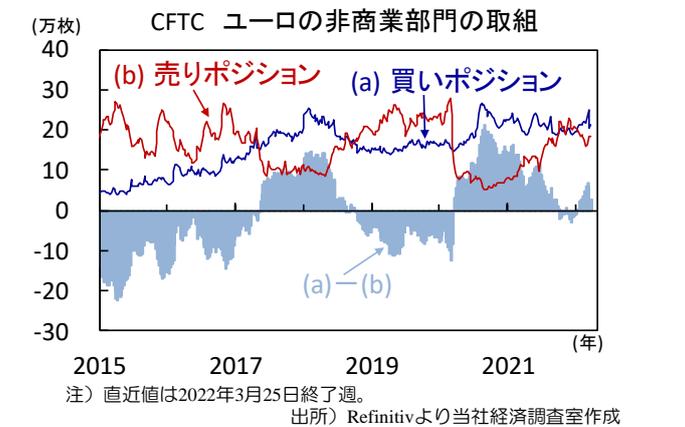
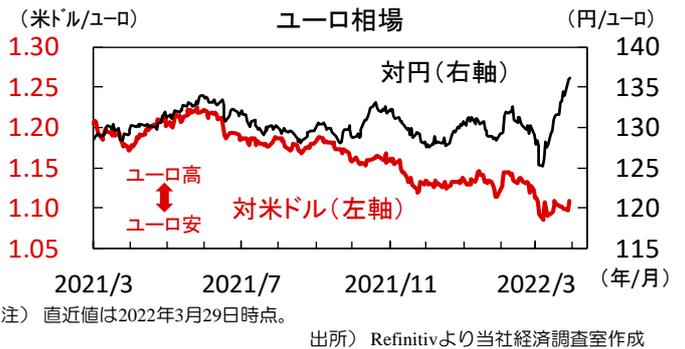
上値は重くも、緩やかな回復基調へ

ウクライナ情勢を巡る強い不透明感は依然残り、米FRBとECB（欧州中央銀行）の金融政策正常化ペースの差から、ユーロ相場は上値の重い展開が続きます。しかし、ロシア産エネルギーを巡る欧州・ロシア双方の追加制裁は回避されており、停戦合意期待も相まって、過度なユーロ売りは巻き戻される見込みです。また、インフレ懸念の高まりからECBが金融政策正常化への積極姿勢を強めていることもユーロ相場を支えそうです。（吉永）

【図5】量的金融緩和策の正常化の詳細が4月明らかに



【図6】ウクライナ侵攻後の急速なユーロ売りは一服



巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。



オーストラリア(豪)ドル

豪ドルは対円で約7年ぶりの高値

3月(～29日)の豪ドルの騰落率は対米ドルで+3.4%でした。ロシア・ウクライナ間の停戦交渉が難航し戦況は激化、株式市場を中心に初旬にはリスク回避の動きが強まるも豪ドル売りは限定的。むしろ豪州の対ロシアの経済的関係性の低さや、資源価格の上昇により豪経済が恩恵を受けるとの見方から上昇基調となりました。対円では大幅に上昇、2015年8月以来となる92円台をつけました。

資源高が豪ドル高要因だが調整リスクは残る

商品価格の高騰を背景に資源輸出国である豪州の貿易黒字が拡大、交易条件が改善し豪ドルは上昇しています。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の先行きに関する不透明感が強まれば相場の重石となり、中国経済減速やコロナ感染再拡大を巡る懸念が再燃する可能性もあります。当面、豪ドルは強含む公算が大きいものの、投機筋の豪ドル売り持ちポジションの動向や豪中銀の利上げ開始時期を見据え神経質な展開となりそうです。(向吉)



ブラジルリアル

資源高の恩恵を受け堅調に推移

リアルは3月初より29日にかけて対米ドルで+8.3%上昇し、昨年7月以来の高値を更新。ロシアのウクライナ侵攻による資源価格の上昇が資源国通貨の追い風となり、リアルも足元堅調さを維持しています。しかし公表された1月の鉱工業生産や小売売上高はコロナ前の水準を割り込み、景気の減速が明確化しています。また今後高インフレや金融引き締めにより内需も冷え込むとみえます。

タカ派な金融政策で堅調も景気減速に注意

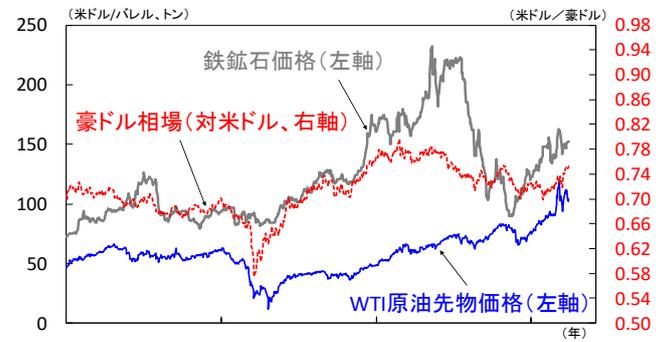
2月の消費者物価は総合が前年比+10.5%(前月+10.4%)、コアが同+8.6%(同+8.0%)と加速しました(図8下)。中央銀行は3月の金融政策決定会合で政策金利を100bp引き上げて11.75%としており、実質金利は引き続きプラスを維持しています。声明では次回会合でも今回と同程度の引き上げが示唆されています。当面リアルは底堅い展開が続くも、年後半にかけて景気の失速や大統領選挙による政治・財政リスクに引き続き注意が必要です。(松本)

【図7】資源価格高が豪ドル相場の押し上げ要因に



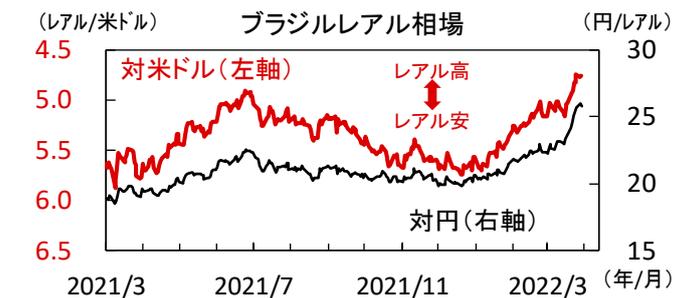
注) 直近値は2022年3月29日時点。出所) Refinitivより当社経済調査室作成

豪ドル相場と鉄鉱石、原油価格



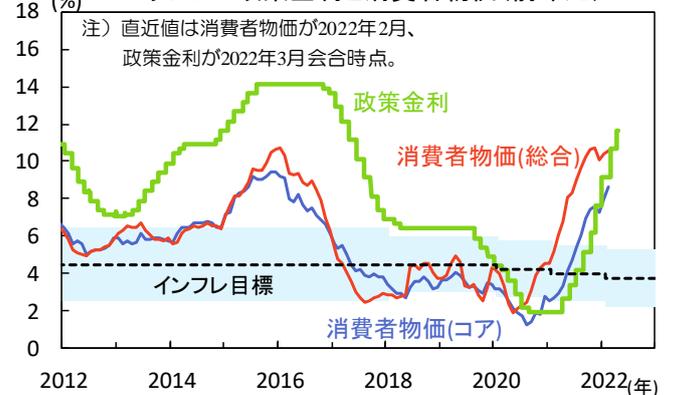
注) 直近値は2022年3月29日。出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図8】3月にリアルは対米ドルで+8.3%と堅調



注) 直近値は2022年3月29日時点。出所) Refinitivより当社経済調査室作成

ブラジル 政策金利と消費者物価(前年比)



注) 直近値は消費者物価が2022年2月、政策金利が2022年3月会合時点。出所) CEIC、Bloombergより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。



日本

リートは月後半にかけ大幅に反発

3月の東証REIT指数は前月末比7.8%上昇しました（～29日）。月前半はウクライナ侵攻を受けて各国が対ロシア制裁を強める中、市場は地政学リスクを警戒しリートも上値の重い展開が続きました。月後半は米金融政策の不透明感払拭やウクライナ侵攻の停戦交渉期待、まん延防止等重点措置の全面解除（～21日）等を背景にリスクオンムードが強まり、リートは堅調に推移しました。

行動制限解除が支援材料に

4月以降は行動制限解除に伴う人流回復等が期待される中、経済環境改善はリートの支援材料になるとみまます。加えて、日銀は欧米など海外中銀に追随せず金融緩和を継続しており、リート配当金と金利の利回り差は投資妙味が残存しているとみまます。他方、三鬼商事が公表した直近の都心5区オフィス空室率・平均賃料はいずれも悪化しており、リート保有不動産の4割を占めるオフィスセクターの改善はリート一段高に不可欠とみまます。（田村）

米国

米金利が上昇するなか上昇

3月のS&P米国リート指数は+8.9%と上昇しました（29日時点）。序盤、地政学リスクの高まりや資源価格上昇受け一進一退となりました。米FRB（連邦準備理事会）は0.25%の利上げを実施、その後も早期大幅利上げを志向との見方が強まり重石となりました。但し、足元の米景気は利上げ耐性が高いとのFRBの見方に支えられ、リスクテイクに積極的な投資家の買い戻しが続きました。

リートは株価バリュエーション回復に追隨

4月の米国リート市場は米景気が焦点になるとみています。FRBは、利上げ後も米景気が景気後退に陥る可能性は低いと、景気の利上げ耐性の高さを指摘しています。一方、金融市場は一部の長短金利の逆転から景気後退を懸念する声が強くなり残ります。2分する米景気見通しは市場のリスクを高める可能性があるも、次第にFRBの見立てに収れんとするとみられ、リートは株価のバリュエーション回復と歩調を合わせるとみています。（徳岡）

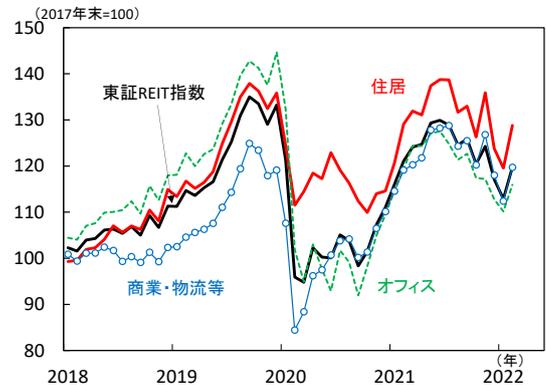
【図9】東証REIT指数は2,000ポイント前半まで回復



注）直近値は2022年3月29日時点。

出所）Refinitivより当社経済調査室作成

日本 東証REIT指数(用途別)



注）直近値は2022年3月28日時点、データは月末値。

出所）Refinitivより三菱UFJ国際投信作成

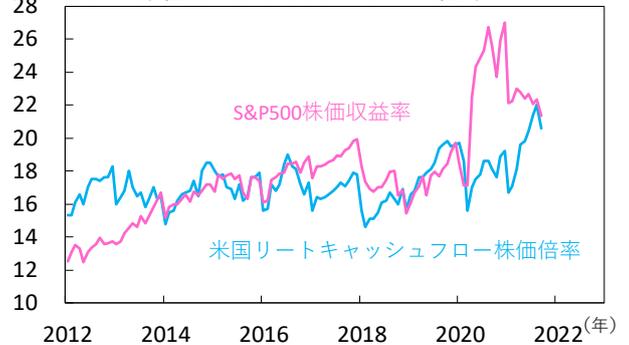
【図10】リートは株価バリュエーション回復に追隨



注）直近値は2022年3月29日時点。

出所）Refinitivより当社経済調査室作成

S&P500株価収益率と
米国リートキャッシュフロー倍率



注）直近値は2022年2月28日。出所）S&P、Refinitivより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。

● 2022年4月の主要経済指標と政治スケジュール

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--|--|--|---|--|
| 3/28 (米) 2月 卸売在庫(速報) | 29 (日) 2月 労働関連統計 (米) 1月 S&P370シック/ ケース・シー住宅価格指数 (米) 3月 消費者信頼感指数 (コンファレンス・ボード) (独) 4月 GfK消費者信頼感指数 (豪) 2月 小売売上高 | 30 (日) 2月 小売売上高 (米) 3月 ADP雇用統計 (米) 10-12月期 実質GDP(確報) (欧) 3月 ユーロ圏景況感指数 (中) 3月 製造業PMI(政府) (中) 3月 非製造業PMI(政府) | 31 (日) 2月 鉱工業生産(速報) (米) 2月 個人所得・消費 (米) 3月 シカゴ購買部協会 景気指数 (欧) 2月 失業率 (独) 3月 失業者数 (英) 10-12月期 実質GDP(確報) (豪) 2月 住宅建設許可件数 | 4/1 (日) 日銀短観(3月調査) (日) 3月 新車販売台数 (米) 3月 労働省雇用統計 (米) 2月 建設支出 (米) 3月 ISM製造業景気指数 (欧) 3月 消費者物価 (中) 3月 製造業PMI(財新) (伯) 2月 鉱工業生産 |
| 4 (日) 3月 マネタリーベース (米) 2月 製造業受注(確報) (欧) 4月 Sentix投資家信頼感指数 (欧) ユーロ圏財務相会合 EU財務相会合(～5日) (独) 2月 貿易統計 | 5 (日) 2月 毎月勤労統計 (日) 2月 家計調査 (米) 2月 貿易収支 (米) 3月 ISMサービス業景気指数 (仏) 2月 鉱工業生産 (豪) 金融政策決定会合 (英) 3月 新車登録台数 | 6 (米) FOMC議事録 (3月15-16日分) (独) 2月 製造業受注 | 7 (日) 2月 景気先行指数 (独) 2月 鉱工業生産 (豪) 2月 貿易統計 | 8 (日) 2月 経常収支 (日) 3月 消費者態度指数 (日) 3月 景気ウォッチャー (日) 3月 倒産件数 (米) 2月 卸売在庫(確報) (伯) 3月 消費者物価(IPCA) |
| 11 (日) 3月 工作機械受注 (英) 2月 鉱工業生産 (中) 3月 生産者物価 (中) 3月 消費者物価 | 12 (日) 3月 国内企業物価 (日) 3月 銀行・信金貸出動向 (米) 3月 NFIB中小企業楽観指数 (米) 3月 消費者物価 (米) 3月 月次財政収支 (欧) 4月 ZEW景況感指数 (独) 4月 ZEW景況感指数 (英) 2月 失業率(ILO基準) (豪) 3月 NAB企業景況感指数 (印) 2月 鉱工業生産 | 13 (日) 3月 マネーストック (日) 2月 機械受注 (米) 3月 生産者物価 (欧) 2月 鉱工業生産 (伊) 2月 鉱工業生産 (加) 金融政策決定会合 (英) 3月 消費者物価 (英) 3月 生産者物価 (豪) 4月 消費者信頼感指数 (中) 3月 貿易統計 (伯) 2月 小売売上高 | 14 (米) 3月 小売売上高 (米) 3月 輸出入物価 (米) 4月 ミシガン大学 消費者信頼感指数(速報) (欧) 欧州中央銀行(ECB)理事会 (欧) ラガルドECB総裁記者会見 (英) 3月 RICS住宅価格 (豪) 3月 雇用統計 | 15 (米) 4月 ニューヨーク連銀 製造業景気指数 (米) 3月 鉱工業生産 |
| 18 (米) 4月 NAHB住宅市場指数 (中) 1-3月期 実質GDP (中) 3月 小売売上高 (中) 3月 鉱工業生産 (中) 3月 都市部固定資産投資 | 19 (米) 3月 住宅着工・許可件数 | 20 (日) 3月 貿易統計 (日) 2月 第3次産業活動指数 (米) 3月 中古住宅販売件数 (米) ページュブック (地区連銀経済報告) (豪) 3月 景気先行指数 | 21 (米) 3月 景気先行指数 (欧) 4月 消費者信頼感指数 (他) G20財務相・中銀総裁会議 (～22日) | 22 (日) 3月 消費者物価(全国) (日) 4月 製造業PMI (日) 4月 サービス業PMI (米) 4月 製造業PMI(速報) (米) 4月 サービス業PMI(速報) (欧) 4月 サービス業PMI(速報) (英) 4月 GfK消費者信頼感指数 (英) 3月 小売売上高 |
| 24 (仏) 大統領選挙決選投票 25 (日) 3月 企業向けサービス価格 (独) 4月 ifo景況感指数 | 26 (日) 3月 労働関連統計 (米) 3月 耐久財受注 (米) 3月 製造業受注(速報) (米) 2月 S&P370シック/ ケース・シー住宅価格指数 (米) 4月 消費者信頼感指数 (コンファレンス・ボード) (米) 3月 新築住宅販売件数 | 27 (日) 日銀金融政策 決定会合(～28日) (米) 3月 卸売在庫(速報) (米) 3月 中古住宅販売 仮契約指数 (独) 5月 GfK消費者信頼感指数 | 28 (日) 3月 小売売上高 (日) 黒田日銀総裁定例記者会見 (日) 3月 鉱工業生産(速報) (米) 1-3月期 実質GDP (1次速報) (欧) 4月 ユーロ圏景況感指数 | 29 (米) 3月 個人所得・消費 (米) 4月 シカゴ購買部協会 景気指数 (米) 4月 ミシガン大学 消費者信頼感指数(確報) (欧) 3月 マネーサプライ(M3) (欧) 4月 消費者物価 (欧) 1-3月期 実質GDP(速報) (独) 1-3月期 実質GDP(速報) (中) 4月 製造業PMI(財新) 30 (中) 4月 製造業PMI(政府) (中) 4月 非製造業PMI(政府) |

注) (日) 日本、(米) 米国、(欧) ユーロ圏、(独) ドイツ、(仏) フランス、(伊) イタリア、(英) 英国、(豪) オーストラリア、(加) カナダ、(中) 中国、(印) インド、(伯) ブラジル、を指します。日程および内容は変更される可能性があります。

出所) 各種情報、Bloombergより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意頂きたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。

注) 直近値は2022年3月29日時点

| 株式 | (単位: ポイント) | 直近値 | 2月末 | 騰落率% |
|---------|-------------------|------------|------------|--------|
| 日本 | 日経平均株価 (円) | 28,252.42 | 26,526.82 | 6.51 |
| | TOPIX | 1,991.66 | 1,886.93 | 5.55 |
| 米国 | NYダウ (米ドル) | 35,294.19 | 33,892.60 | 4.14 |
| | S&P500 | 4,631.60 | 4,373.94 | 5.89 |
| | ナスダック総合指数 | 14,619.64 | 13,751.40 | 6.31 |
| 欧州 | ストックス・ヨーロッパ600 | 462.09 | 453.11 | 1.98 |
| ドイツ | DAX® 指数 | 14,820.33 | 14,461.02 | 2.48 |
| 英国 | FTSE100 指数 | 7,537.25 | 7,458.25 | 1.06 |
| オーストラリア | S&P/ASX200 指数 | 7,464.30 | 7,049.10 | 5.89 |
| 香港 | ハンセン指数 | 21,927.63 | 22,713.02 | ▲ 3.46 |
| 中国 | 上海総合指数 | 3,203.94 | 3,462.31 | ▲ 7.46 |
| インド | S&P BSE SENSEX 指数 | 57,943.65 | 56,247.28 | 3.02 |
| ブラジル | ボベスパ指数 | 120,014.17 | 113,141.94 | 6.07 |
| 先進国 | MSCI WORLD | 3,110.81 | 2,977.95 | 4.46 |
| 新興国 | MSCI EM | 1,136.45 | 1,171.31 | ▲ 2.98 |
| 新興アジア | MSCI EM ASIA | 603.17 | 627.28 | ▲ 3.84 |

| 為替 (対円) | (単位: 円) | 直近値 | 2月末 | 騰落率% |
|--------------------|---------|--------|--------|-------|
| 米ドル | | 122.84 | 114.99 | 6.83 |
| ユーロ | | 136.18 | 129.01 | 5.56 |
| 英ポンド | | 160.81 | 154.31 | 4.21 |
| カナダドル | | 98.25 | 90.69 | 8.34 |
| オーストラリアドル | | 92.28 | 83.51 | 10.50 |
| ニュージーランドドル | | 85.17 | 77.72 | 9.59 |
| 中国人民幣元 | | 19.291 | 18.223 | 5.86 |
| インドルピー | | 1.6230 | 1.5221 | 6.63 |
| インドネシアルピア (100ルピア) | | 0.8552 | 0.8003 | 6.86 |
| タイバーツ | | 3.6650 | 3.5176 | 4.19 |
| マレーシアリング | | 29.146 | 27.372 | 6.48 |
| ブラジルレアル | | 25.813 | 22.283 | 15.84 |
| メキシコペソ | | 6.144 | 5.615 | 9.43 |
| 南アフリカランド | | 8.443 | 7.478 | 12.90 |
| トルコリラ | | 8.42 | 8.30 | 1.45 |
| ロシアルーブル | | 1.2932 | 1.0356 | 24.87 |

| 国債利回り | (単位: %) | 直近値 | 2月末 | 騰落幅% |
|-----------|---------|--------|--------|---------|
| 日本 | 10年物 | 0.249 | 0.184 | 0.065 |
| 米国 | 10年物 | 2.398 | 1.822 | 0.576 |
| ドイツ | 10年物 | 0.641 | 0.159 | 0.482 |
| 英国 | 10年物 | 1.652 | 1.415 | 0.237 |
| カナダ | 10年物 | 2.482 | 1.815 | 0.667 |
| オーストラリア | 10年物 | 2.889 | 2.178 | 0.711 |
| ニュージーランド* | 10年物 | 3.348 | 2.768 | 0.580 |
| インド | 10年物 | 6.821 | 6.770 | 0.051 |
| インドネシア | 10年物 | 6.760 | 6.510 | 0.250 |
| ブラジル | 10年物 | 11.190 | 11.320 | ▲ 0.130 |
| メキシコ | 10年物 | 8.390 | 7.927 | 0.463 |
| 南アフリカ | 10年物 | 9.505 | 9.440 | 0.065 |
| トルコ | 10年物 | 24.330 | 23.070 | 1.260 |
| ロシア | 10年物 | 12.690 | 12.460 | 0.230 |

| 政策金利 | (単位: %) | 直近値 | 2月末 | 騰落幅% |
|-----------|--------------|-------|-------|------|
| 米国 | FF目標金利 | 0.50 | 0.25 | 0.25 |
| ユーロ圏 | リファイナンスレート | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 英国 | バンクレート | 0.75 | 0.50 | 0.25 |
| カナダ | オーバーナイト・レート | 0.50 | 0.25 | 0.25 |
| オーストラリア | キャッシュレート | 0.10 | 0.10 | 0.00 |
| ニュージーランド* | キャッシュレート | 1.00 | 1.00 | 0.00 |
| 中国 | 1年物優遇貸付金利 | 3.70 | 3.70 | 0.00 |
| インド | レポレート | 4.00 | 4.00 | 0.00 |
| インドネシア | 7日物リバース・レポ金利 | 3.50 | 3.50 | 0.00 |
| ブラジル | SELIC金利誘導目標 | 11.75 | 10.75 | 1.00 |
| メキシコ | オーバーナイト・レート | 6.50 | 6.00 | 0.50 |
| 南アフリカ | レポレート | 4.25 | 4.00 | 0.25 |
| トルコ | 1週間物レポ金利 | 14.00 | 14.00 | 0.00 |
| ロシア | 1週間物入札レポ金利 | 20.00 | 20.00 | 0.00 |

| リート | (単位: ポイント) | 直近値 | 2月末 | 騰落率% |
|---------|-------------|----------|----------|------|
| 日本 | 東証リート指数 | 2,023.05 | 1,877.38 | 7.76 |
| 米国 | S&P米国REIT指数 | 1,922.59 | 1,766.07 | 8.86 |
| 欧州 | S&P欧州REIT指数 | 972.97 | 923.33 | 5.38 |
| オーストラリア | S&P豪州REIT指数 | 1,043.63 | 1,032.34 | 1.09 |

| 商品 | (単位: ポイント) | 直近値 | 2月末 | 騰落率% |
|-------|---------------|----------|----------|-------|
| 原油 | WTI先物 (米ドル) | 104.24 | 95.72 | 8.90 |
| 金 | COMEX先物 (米ドル) | 1,912.20 | 1,900.70 | 0.61 |
| 工業用金属 | ブルームバーグ商品指数 | 208.76 | 189.27 | 10.30 |
| 穀物 | ブルームバーグ商品指数 | 52.30 | 50.13 | 4.33 |

注) 株式は現地通貨 (MSCIは米ドル) ベース、リートは現地通貨ベース (米国・欧州・オーストラリアは配当込み指数)、商品は米ドルベース。
 FF目標金利はレンジ上限値を表記。原油は1バレル当たり、金は1オンス当たりの価格。
 直近値および前月末値のデータがない場合 (休場など)、それぞれ前営業日の値を表示。

出所) MSCI、S&P、Refinitivより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。（作成基準日：2022年3月30日）
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

TOPIX（東証株価指数）、東証リート指数に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。

FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。

MSCI WORLD、MSCI EM、MSCI EM ASIAに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）およびブルームバーグ（Bloomberg®）は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー（Bloomberg Finance L.P.）およびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）のサービスマークであり、三菱UFJ国際投信による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー（UBS Securities LLC）の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社（以下「UBS」と総称します。）のいずれも、三菱UFJ国際投信の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、三菱UFJ国際投信が運用するファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

S&P先進国REIT指数はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス（S&P DJI）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。S&P DJIはS&P先進国REIT指数、S&P新興国REIT指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会